



男女の出会いの場づくりを応援

ここから始まる



縁結び

結婚したい人のために 手軽な縁結び補助金

市長 今、少子化や人口減少が社会全体の問題になっていきますね。基本的に結婚や男女の交際、その人がどういう人生設計をするのかは、個人の問題です。でも、結婚したいと思っても異性と知り合う機会がないという人たちに、出会いの場を作っても良いのではないかと考えました。異性が少ない職場もあるでしょうし、例えば介護、保育、看護の現場などでは、なかなか出会いがないとも聞きます。行政でも何かできないかと思っていたところ、倉渕の婚活イベントの成功例を聞きました。山林保護などと

パーティーを組み合わせたイベントで実際にカップルが誕生したわけですね。それでボランティア活動などを組み合わせた男女の交流イベントの開催を支援しようと考え、縁結び応援団補助金を始めました。

申請は簡単

石原 「補助金の申請」と聞いて初めは構えてしまいましたが、実際にやってみると申請もすごくシンプルで、書類も簡単でした。実施の基準も分かりやすく非常に利用しやすい仕組みですよ。

市長 そう言ってもらえるとありがたいですね。補助金の申請は複雑なものが多い。それでは利用してもらえないので、簡単なものにしたんです。



対談

男女の交流の場となるイベントを開催する企業や団体の活動を応援したいと考えている。



櫛ブランドウ ようざんに勤務。5月14日に補助金が縁で平成27年7月に「やきコン」を開催。小八木町在住。



平成26年10月の「コメ婚」に友人と参加。コメ婚が縁で平成27年7月に「やきコン」を開催。倉渕町川浦在住。



田舎 DE 婚活実行委員会を創設。地元・倉渕を舞台に「山コン」「コメ婚」などを開催。倉渕町川浦在住。

田村 はい。昨年のコメ婚に参加しました。倉渕のおいしい食材を使った交流があるところ、それが魅力的でした。
市長 そこで出会った人とてもたくさん結婚されたんですね。おめでとございます。お二人とも市内のご出身ですか？

田村 ありがとうございます。私が市内出身で、彼は沼田です。今は二人で乗附に住んでいます。

塚越 高崎の人口増につながりました(笑)。田村さんはカップルになった方の中で一番最初に入籍されたんです。

市長 それはうれしい。本日に縁結びになりましたね。

主催者側の連携でさらに広がる可能性

市長 石原さんは福祉関係の仕事をされていますが、例えば同じ職場同士で結婚相手を探すのは難しいですか？

石原 そうですね。出会いの場が少ないという話がよく耳にします。他の法人や医療関係などでも同じですね。

市長 縁結び応援団補助金活用の第1号は石原さんが勤務する「ようざん」でした。ボランティア活動はどんなこ

としましたか？

石原 法人のお祭りでの焼きそば作りです。調べたら、アウトドアは人と人をつなげやすいそうなんです。そこで野外イベントでも定番の焼きそば作りで男女に仲良くなってもらおうと「やきコン」を開催しました。ソース焼きそば対塩焼きそばで、おいしさを競い合うものです。来場者に割りばしで投票してもらおうゲーム感覚のイベントです。最初は恥ずかしがっていた参加者も、始まったらすぐに仲良くなりましたね。

市長 なるほど。「ボランティア活動と組み合わせたいイベント」というと腰が引けてしまいがちですが、石原さんのお話のように、お祭りのちょっとしたお手伝いを盛り込んだイベントでいいんですよ。

石原 それと参加者同士が仲良くなった後のもうひと押しを考えると、例えば、結婚への意識を向けてもらうために、ウエディングドレスの試着体験などを盛り込んだイベントを開催するというのはどうでしょうか。いろんな業界が連携すれば高崎全体を元気にできるのかなと思います。

市長 市の縁結び補助金を

使って婚活イベントを開催してもらおう場合も、一つの施設だけではなくて、例えばいくつかの施設が合同で企画してもいいです。主催者側も横のつながり、仲間を増やしてもええらと思えます。

さまざまなたちの婚活イベントを後押し

市長 イベント開催について何かアイデアはありますか？

田村 山コンややきコンのように、ボランティアスタッフのサポートがあると、構えずに参加できて、交流が発展しやすいのかなって思います。

市長 そうですね。女性への参加の呼び掛け方も工夫が必要ですね。あえて年齢層を分けて開催するのも一つの方法かもしれません。倉渕の「田舎DE婚活」の発想で各地域でも婚活イベントを開いてもいいですね。来てもいいから地域自体も元気になるように。

塚越 うれしいですね。ありがとうございます。

石原 第2弾として、スポーツ活動を通じた婚活イベントを企画しています。実は介護の業界ってすごいストレスを抱えている人が多いんです。

よ。以前、日頃のストレスを発散してもらおうと、社内でするサッカーを企画したことがあったんですが、好評で思いの外、参加者が集まって。

市長 それは良いアイデア。ボランティア活動以外にスポーツ活動でもいいですね。

田村 チームに分かれていろいろできそう。

石原 高崎のスポーツ業界も盛り上がるんじゃないかと思うんです。

市長 塚越さんは他にどんなことを考えてますか？

塚越 「森コン」ですね。森の中で癒されながら、リフレッシュして楽しくやろうというものです。山を歩いているとカモシカなども見られるんですよ。

市長 倉渕には圧倒的な自然

がありますからね。私は、やはり結婚したいと願う人たちが出会うような機会を作りたいと思うんです。もちろん、結婚するかしないかは個人の自由ですが、今後皆さんがなさっているような男女の交流の場づくりを後押ししていこうと考えています。本日はありがとうございます。

三人 ありがとうございます。



5月14日に行った「やきコン」。2班に分かれ、ソースと塩の焼きそばを競った



昨年10月4日、倉渕町の田んぼを使った「コメ婚」の様子。稲刈りやパーベキューなどを行った